

こ 案 内

第2回『新庄の明日を考える』市民の集い

「新庄の明日を考える会」(代表 渡部泰山/正木徹)

期日:平成27年3月5日(木)/午後7時~9時

場所:新庄市民プラザ大ホール

参加費:200円(資料代及び会場運営費)

財政危機、所得減少、少子高齢化、人口減少、若い女性の流出、地方消滅・・・、
あらゆるネガティブ用語が当てはめられてきた新庄市。
私たちはこの流れを時代の推移と受け止めるしかないのだろうか？
新庄市の未来は、本当に暗く、どうしようもないのだろうか？
この集いは、新庄の希望の将来に向け、知恵をだし、みんなで語り合う場です。

◆主な内容

- 報告 渡部泰山(山形大学大学院教授)
- 基調提言 正木 徹(社会福祉法人敬寿会常務理事、元最上総合支庁長)
- 基調講演 横山英子

(株・プラクシスFB仙台代表取締役社長、復興庁復興推進委員
日本青年会議所東北協議会会長、岩沼市総合開発審議会委員など務めた)

「地方都市衰退の中で、何を考え、どう行動すべきか」

●参加者意見交換

※主催の「明日の新庄を考える会」は、市民有志により結成された会で、特定の政党や特定の団体、企業に所属するものではありません。市民、県民の立場で自由に考え、発言し、明日の新庄のまちづくりを提言しようというものです。参加はどなたでも自由です。但し、発言内容は相手特定の人や政治グループを非難中傷することは控えて下さい。市民のみなさんの多様な価値観を受け入れながら、前向きな立場でお願いします。

- 全体総括(渡部泰山)